

本校は、富士山の伏流水が湧き出る「水の都」三島市の南西部に位置します。市街地から離れ、近くには狩野川が流れる緑豊かで静かな環境にあります。伊豆半島の付け根付近に位置する平坦な地域で、学区にはほとんど坂道がありません。周囲を木々に囲まれた広い敷地には、運動場に加え芝生のエリアや中庭もあり、児童はのびのびと学校生活を送っています。昭和54年に設立され、まだそれほど歴史は深くありませんが、本校出身の保護者も多く、地域や保護者の方々の学校を支えようとする温かい思いに恵まれています。284名の児童は、「底



本校は全校生徒516名の比較的大規模な学校です。学区は、静岡市を流れる安倍川と藁科川の合流点から西北に扇状に広がり、周囲を美しい山々に囲まれながらも、学校付近は住宅地として発展しています。今川家ゆかりの寺として知られる「洞慶院」のお祭りや「おかんじゃけ」という竹細工は地域文化を象徴する存在の一つです。

本校の重点目標は「自ら判断し、責任もって行動できる生徒」です。中学校卒業時や成人して大人の手を離れたときに、独り立ちできることや、持続発展可能なよりよい社会を

力のある子」の校訓を基に、「非認知能力の育成」に取り組んでいます。このような環境の中で育つ児童は、明るく素直で思いやりのある子が多い一方、繊細で傷つきやすい子もあり、心身の健康に関する課題も多様化しています。



保健室には、体調不良で何度も来室したり、小さなけがでも手当てをしてほしいと来室したりする子が目立ちます。また、教室へ行けない子や、泣いてしまっ

た。教室に入りにくく児童にとって、教室とは別の学びの場が整備されたことで、安心できる居場所が新たに増え、登校への不安が少し軽くなったかと思

養護教諭 山崎 智美

三島市立長伏小学校

供たちは、不安や悩みを抱えつつも、がんばって学校生活を送っているのだと感じ、日々の健康観察や応急処置を大切にしつつ、心の不調や不安への支援も養護教諭の重要な役割だと感じています。

えられました。これまで養護教諭としては、別室登校や欠席傾向のある児童に対して、十分に対応することができずに、もどかしさを感じていましたが、現在は校内支援室の職員を中心に、校内で連携しながら支援することができるようになりました。この連携により、

支援の幅が広がるとともに、保健室では、来室した児童一人一人と向き合う時間を確保できるようになってきました。別室登校の児童たちの笑顔が増え、いきいきと過ごしている声が保健室に聞こえてきます。

保健室は、児童が安心して心身を休めることができる場所でありたいと思っています。何気ない会話の中から不安や変化に気づくこともあり、日常的な関わりでの積み重ねが大切だと感じています。これから、校内の職員やスクールカウンセラー、外部機関や保護者などとの連携を大切にしながら、どの子にとって居心地の良い保健室づくりを努めていきたいと考えています。



養護教諭 片岡 千絵

静岡市立服織中学校

ます。生徒は、明るく素直で優しい子どもたちが多い一方、自分の気持ちや言葉で表現することが苦手で、相手への気遣いからか、自分の気持ちを抑えてしまふ実態があります。保健室の来室理由からも、友だちとのトラブルが心身の不調につな

料やオリジナルキャラクター「きあちゃん」を作成し、自分の気持ちに気づくことや相手に自分はどうしてほしいのかリクエストすることが大切であると伝えました。よりよい人間関係を築くことができれば、学校生活がもっと

せを周りの人たちと共有し、みんなに幸せになってもらいたいという保健専門委員長の願いを具体化した「シェアハビ」の掲示は、前を通るたびに温かい気持ちでいっぱいにしてくれます。価値観も感覚も多様な子どもたちが、互いを理解し、尊



浜名愛ノ宮保育園



愛ノ宮保育園

重し合うことは簡単ではありませんが、一つ一つの指導を重ねていくことが子どもの成長につながることを考えます。子どもへの心に寄り添い、一人ひとりを大切にしたい指導をこれからも継続し、子どもたちがよりよい人間関係を築いていけるよう、職員や保護者の協力を得ながら、子どもの成長をサポートしていきたいです。

私たち提供する保育やサービスは、すべて「人」の手によるものです。職員一人ひとりが心身ともに健康で、笑顔で仕事に向き合えなければ、質の高いサービスや温かな愛情を届けることはできません。また、子育て中の職員も多いため、仕事と家庭を両立しながら長く元気に働ける環境を整えることが、持続可能な経営に不可欠だと考え、健康経営に舵を切りました。



忘年会

課後児童クラブやトラベル事業、レンタルバイク事業、IT、広報など多角的な事業を展開しています。「愛ノ宮」愛の集まる場所」という社名の通り、子どもたちや保護者、そして地域の方々が絆で結ばれる場所であることを大切にしています。現在、約90名の職員が、それぞれの専門性を活かしながら、いきいきと働いています。

全職員への毎月の検便実施や流行期前の予防接種補助、感染症予防のための環境整備など、感染症予防を徹底しています。その他がん検診の費用負担、人間ドックの費用サポート、定期的なストレスチェックの実施、市が主催する「職場での健康づくり事業」に参加することで、より一層社内

の場となっています。令和元年に静岡県知事表彰「子育てに優しい企業」を受賞。産休・育休の取得推奨はもちろん、学校行事の参加や子どもの病院など時間単位で休暇を取りたい場合もあるので、有給休暇の時間単位取得制度の導入、AIによるシフト決定により休みに休める環境を構築し、ストレスを溜め込まない柔軟なワークスタイルを推奨しています。健康経営への取り組みを始めてから、職員間のコミュニケーション

株式会社愛ノ宮は2016年、袋井市に企業主導型保育園として「愛ノ宮保育園」を開園しました。その後2020年、浜松市浜名区に「浜名愛ノ宮保育園」を開園し、現在は両園で約250名のお子さまをお預かりしています。当社では保育園事業を核として、放



管理職研修

や忘年会といった親睦行事も大切に行っています。特に社員旅行は、自社内で旅行手配ができるため、複数の行き先から自分の好みに合わせてコースを選択できるスタイルを採用。職員の自主性を尊重しながら、部署の垣根を超えたリフレッシュがより円滑になり、職場全体の雰囲気が一

げんきな事業所 株式会社愛ノ宮

静岡県袋井市国本246316